

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日

平成23年4月15日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	第4690100526号
法人名	有限会社 友星メディカル
事業所名	グループホーム うすき
所在地	鹿児島県鹿児島市宇宿2丁目13番17号 (電話) 099-255-2835
自己評価作成日	平成23年2月20日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kagoshima-kaigonet.com
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島県鹿児島市下荒田2丁目48番13号
訪問調査日	平成23年2月28日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・近隣が工業地域にあり、近隣住民とのつながりがあまりないが、加入している自治会を通じ、民生委員の協力もらい地域行事への参加を徐々に行い、今年度は町内会文化祭に作品を出展することができた。また近隣にあるグループホームとの交流ということで合同レクリエーションを共催した。いずれも利用者・家族に大変喜ばれました。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

鹿児島市の南部に位置し、少し足を延ばすと大型の商業施設があり買い物など利便性に恵まれている。ホーム周辺は(平坦地)で車の往来もさほどなく散歩に危険を伴わない環境である。近隣はマンションや企業多く、地域住民との交流が困難な状況にあるが、ホームの夏祭りの案内を配布したり、自治会を通じ小学校で毎年開催されている校区文化祭に利用者・職員で制作した作品を出展して見学に出かけるなど地域との交流に努めている。また、小中学校の資源回収にも積極的に協力しており、回収に回ってきた子ども達と利用者とのふれあいの機会にもなっている。毎回、ホーム便りを利用して家族へ運営推進会議の案内と参加の呼びかけを行っており、家族の参加が多い。業務も、ここ数年職員の離職が少なく、安定しており、職員から積極的な意見や提案も多く出され、質の高いサービスの提供に取り組んでいる。また、職員の自己研鑽意欲も高く、資格取得に向けたホーム側の支援もあり、個々にレベルアップに向けて励んでいる。管理者、職員が常に前向きでマイナス面をプラスにできるように試行錯誤して様々な取り組みを行っているグループホームである。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	施設内に各所に掲示したり、毎日朝礼で唱和し、理念を絶えず確認し、サービスの向上に努めている。	地域密着型サービスとしての意義を踏まえた理念を作成している。玄関、ホールに掲示してパンフレット・重要事項説明書にも明記している。職員は朝の申し送り時に理念を確認し、理念に沿ったケアの実践に取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の小中学校のリサイクル活動や自治会に加入し町内会の文化祭などの行事に参加している。	町内会に加入しており、管理者は総会に出席してホームの啓発に努めている。また、校区の文化祭にホームで制作した作品を出展したり、ホームの夏祭りの案内を近隣にも配り参加を呼びかけるなど積極的に交流の機会を作っている。校区の資源回収は子ども達との交流の機会になっている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	運営推進会議等や施設の行事等を通して、地域の方々との交流を図っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	利用者の様子やサービスの実施状況等を報告し、意見や提案をいただき、サービスに反映できるよう努めている。	民生委員、家族、職員、行政などの参加を得て2カ月に1回開催している。毎回、ホーム便りで運営推進会議への参加の呼びかけを行っており、家族の参加が多い。サービス向上に向けた意見・提案など運営に活かされている。	

鹿児島県 グループホームうすき 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>主に生活保護受給者の生活状況やサービス内容等について、生活保護の担当者と定期的に連絡・相談を行っている。</p>	<p>生活保護受給者もおおり、日頃より、連携を図り、協力関係を築くように努めている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>職場内の研修を通して、身体拘束の意味を全職員が理解し、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>定期的に勉強会を行って職員の意識付けを行っている。日中は施錠などせずに安全で自由な暮らしを支援している。外出傾向の利用者には職員がさりげなくついて行き見守っている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>研修を実施し虐待の内容について、スタッフは理解しつつある。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>権利擁護に関する制度について、研修等で説明はしているものの実際にその個々の必要性については話をしたことはない。</p>		

鹿児島県 グループホームうすき 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入居時に管理者より説明を行い、十分な理解・納得をいただいている。また退居後に不安がある方の相談等にも応じている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>玄関に相談苦情箱を設置。またご家族が面会に来られた時や運営推進会議などでの意見を運営に活かしている。</p>	<p>日常の家族面会を職員、管理者が話をする機会として家族から意見、要望を聞き出すようにしている。また、運営推進会議も家族の参加が多く、意見交換の場となっている。出された意見、要望については職員全員で話し合って運営に反映させている。利用者からは日常の会話の中で意見、要望を引き出すようにしている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>スタッフの意見・提案を常時聞き、職員会議等で全体で話し合い、反映させている。</p>	<p>職員間で共有すべき内容については朝の申し送りを利用して、利用者の情報の共有を図っている。毎月の職員会議、日々の申し送りなどを職員の意見・提案を表す機会としている。出された意見・提案は職員全員で話し合い、業務の改善やサービスの質の向上に活かされている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>スタッフのモチベーションを維持するためにできる範囲で休暇日の希望を受け入れている。また資格取得等に関する研修等に配慮した勤務を作成している。</p>		

鹿児島県 グループホームうすき 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人内外の研修参加を随時促し、参加者に対して配慮している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>近隣のグループホームと共同での行事開催等を通じ、交流を図りサービスの質向上に役立てている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入居前より施設の見学をベースに十分な説明と不安等の相談を受け、入居してから今までの生活をなるべく維持できるよう努力している。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>入居前よりできるだけ家族が不安に思っていることを聴き取り、具体的な対応等を説明できるよう努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>サービス開始後、心身の状況を見極めた慎重な支援に努めている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>本人には生活する上で、何かしら自身でできることはしていただくように支援している。</p>		

鹿児島県 グループホームうすき 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時に少しでも本人と家族がゆっくり寛げ、様々な談話ができるよう配慮している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人の友人や知人の面会は家族の承諾を得て推奨している。	友人・知人が訪ねやすい雰囲気作りに努めている。行きつけの理美容院・スーパーへの買い物・コーヒー店の利用など、なじみの人や場との関係継続の支援を行っている。また、本人の希望で友人を訪ねていくこともある。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	座席や入浴の順番など配慮し、個々が孤立しないで過ごせるように思いやりを持ったケアを心がけている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	継続的なかわりが必要な利用者にはいつでも相談や支援ができるよう心がけている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者との会話や表情・言動等より暮らしの意向・希望を把握するよう努めている。	会話の中から思いや意向を把握し、本人本位に検討している。直接的な意思表示が困難な場合は、表情・言動などから把握するようにしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人との会話や家族との話し合いの中で、どのような生活を送ってこられたのかを聴き取り、できるだけこれまでの暮らしに近づくよう努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者個々の生活リズムを把握し、できるだけできることはしていただくよう見極め支援するよう努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	課題等がある場合、その都度話し合い、新しい意見やアイデアは介護計画に反映するよう心がけている。	本人、家族の思いや希望、職員の意見など反映した本人本位の介護計画を作成している。仏壇のお世話が日課になっている利用者もおり、これまでの生活習慣の維持として支援している。日々の気づきは、個々の生活記録を取り、職員は情報の共有を図っている。	

鹿児島県 グループホームうすき 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>できるだけ本人の思いが伝わるよう本人の言葉で記入するように心がけている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>病院受診の付き添いや必要物品の買い物など本人や家族の状況次第で代行する支援を行っている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>必要に応じて訪問ヘアカットやマッサージ、主治医の訪問診療、歯科医療など他のサービス事業所との連携で支援している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>利用者本位の受診ができるよう本人及び家族が望む医療機関との連携を図り適切な医療が受けられるよう心がけている。</p>	<p>本人、家族の希望するかかりつけ医の受診を支援している。家族が連れていく際、状況によっては日々のケアチェック表のコピーを持たせている。かかりつけ医によっては往診の利用者もいる。</p>	

鹿児島県 グループホームうすき 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>看護職員が不在であるので、本人のかかりつけの医療機関と何かあれば電話連絡して対応している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>入院中は定期的に面会に行き、本人または病院関係者から様子を伺い状態の把握を行い、早期に退院できるよう支援している。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居の段階で家族等に今後の変化次第で施設でのできる事、できない事を見極めながら、主治医等と連携を図りながらケアしていくこと説明している。</p>	<p>重度化や終末期に向けたホームの方針は諸々の条件が整えば可能なことを口頭で説明しているが、記録として残していない。ホームで最期までとの思いを話す利用者もおり、今後、家族・医療機関との十分な話し合いを持って支援に取り組んでいくことを検討している。</p>	<p>本人・家族が安心して暮らせるように職員全員でホームとしてできる最大限の支援を話し合い、ホームの方針を共有して支援に取り組めるように今後に期待したい。</p>
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>急変時のマニュアルを常に掲示し、いざという時に慌てないように指導されている。</p>		

鹿児島県 グループホームうすき 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>主に火災を想定した避難訓練により緊急時の対応を実施・検討している。地域との協力体制づくりを検討している。</p>	<p>年2回昼夜間想定で避難訓練を行っている。2階があるため、職員全員が夜勤担当者となって利用者を避難させる訓練も行っている。工業地帯で近隣の協力が困難なため、24時間体制の近くの企業と協力体制を築けるように今後話し合いを検討している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	排泄など失敗した等、本人のプライバシーを損なわないような声かけ、対応を心がけている。	個々に応じた声かけに配慮している。定期的に勉強会も行って、職員の資質の向上に向けて取り組んでいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者個々に合わせた話の傾聴や声かけを行い、利用者自身が思いや希望を表現しやすい環境づくりに努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その日の本人の心身状況に出来るだけ合わせ、ゆったりと一日過ごしてもらおうよう心がけている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	本人の気分や好みで身だしなみができるよう心がけている。訪問理容などを利用して、パーマをかける方もいる。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	献立によって、利用者がお手伝いができるものについては、してもらっている。誕生日は、利用者自身が好きなものを献立としている。	家庭菜園でできた野菜の収穫を楽しんで大根やかぶの漬物の作り方を利用者に教わったり、若い職員は煮物やしらあえなどのアドバイスをもらうこともある。片づけ、食器洗いなど個々の力量を活かした手伝いをもらい、自立にむけた支援を行っている。本人の希望により外食に行く利用者もいる。	

鹿児島県 グループホームうすき 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事量・水分量はチェック表に毎日記載し、把握している。変化に応じ、その都度支援している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>利用者個々に応じ、適宜口腔内の見守り・介助を行っている。歯科訪問診療も受けている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>利用者個々に応じた排泄環境を検討し、できるだけ自身の機能を活かした排泄ができるよう心がけている。</p>	<p>身体状況を配慮しながら、できる限りオムツの使用はせず、こまめな声かけ誘導でトイレでの排泄を支援し、排泄チェック表で健康管理と排便のパターンを把握し、自立にむけた支援を行っている。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>便秘からくる心身の影響を踏まえ、食事や水分の量、運動、言動・様子から適切な排便サイクルができるよう支援している。</p>		

鹿児島県 グループホームうすき 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	利用者個々の希望や心身状況を踏まえ、入浴がゆったりと楽しくできるよう支援している。	基本的には週3回の入浴であるが、希望があれば毎日の入浴も可能で、個々の希望に応じた入浴の支援を行っている。入浴をためらう利用者には声かけを工夫して入浴してもらっている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	利用者個々の状態に合わせて、休息や昼寝を促している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	定期薬・臨時処方、職員間で申し送りを行い、薬の説明書を見ながら対応している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	利用者の個性に合った声かけを行い、無理なく自然とできる役割をしている方もいる。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	定期的に外食や外出行事を計画実施。家族にも呼びかけて協力をもらおうよう働きかけている。	日常的に散歩、畑仕事、ドライブ、近くの大型スーパーへの買い物などで戸外に出かけられるように支援している。近隣のグループホームと合同でふれあいスポーツランドでの運動会を行ったり、おはら祭り、ふるさと祭りの見学や磯庭園の菊祭りの見学などにも出かけている。	

鹿児島県 グループホームうすき 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>自己管理できる方は、ご自身で所持管理しているが、支援が必要な方はサポートしている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>家族や親戚等に電話をかけたい時は気兼ねなく電話をかけてもらっている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>あまり装飾が派手にならないよう装飾は季節感があるものをいつも同じ場所に装飾し配慮している。ソファも常設しゆったりと寛いでいただいている。</p>	<p>共用空間は広く廊下にもソファが置かれ、お気に入りの場所になっている利用者もいる。利用者の身体状況を考慮して和室にもソファやテーブル・イスが置かれ利用者は個々にテレビを見たり、くつろいだりと居心地良く過ごせるように配慮されている。また、外気浴の場所として玄関の軒先にもイスが置かれている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>食堂ホールや畳、廊下に4箇所ソファを常設し、そこで思い思いにゆっくりと寛いでいることが見受けられる。</p>		

鹿児島県 グループホームうすき 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>本人が使い慣れたものや好みのもを置いて、安心した居室になるように配慮している。</p>	<p>テレビ、タンス、イス、ぬいぐるみ、仏壇などが持ち込まれている。毎日の日課で居室で仏壇に炊きたてのご飯とお茶を供える利用者もおり、これまでの生活習慣をホームでも維持できるように支援している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>利用者個々の状況を把握し、安全に自立した生活ができるように配慮している。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

鹿児島県 グループホームうすき 1ユニット

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

鹿児島県 グループホームうすき 1ユニット

66	職員は，生き活きと働けている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない